

保護者様

松戸市立相模台小学校

校長 保坂 和志

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

初冬の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、4月19日に実施されました「全国学力・学習状況調査」(**6年生が実施**)の結果について、概要をお知らせします。

この調査は、学力の一部を調べたものです。したがって、得点や他校との比較については、調査の趣旨とは異なるため、説明しかねますことをご了承下さい。

本調査からうかがえる成果や傾向、課題について以下のように分析し、報告するとともに、これからの本校の教育活動に生かしてまいります。

1 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語・算数・理科)
- (2) 生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

2 相模台小学校の調査結果

(1) 教科に関する調査結果について

- ・正答数分布は、全国や千葉県より、平均正答率・中央値がやや高い結果になっています。
標準偏差※の幅も小さいばらつきも少ない結果です。
※資料が平均値のまわりにどの程度の広がり分布しているかを示す一つの尺度

【国語】

- ・国語では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」など、どの能力に関わることも全国や千葉県より高い結果になっています。
- ・とくに物語の人物の相互関係や人物像・物語の全体像を考える正答率が高く、学習活動を行う中で、実際に読み取ったことをもとに表現し、対話的活動の中で自分の考えを再構築する学習が充実している成果だと考えられます。
- ・全国平均よりは高いものの、全国的な課題同様、感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見付けることに課題が見られました。自らの文章を再読し、振り返る学習をこれからも指導していくことで課題を解決していくように考えています。

【算数】

- ・算数では、どの領域も全国や千葉県の正答率より高い結果になっています。
- ・概ね知識・技能の能力に関わる問題については正答率が高いので、ドリル学習などによって、基礎的な技能が身についていると考えられます。
- ・全国平均よりは高いものの、日常生活の場面に即して、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題が見られました。日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導していくことで課題を解決していくようにと考えています。

【理科】

- ・理科では、どの領域も全国や千葉県の正答率と同程度か高い結果になっています。
- ・全国的な課題同様、「記述式」の問題に課題があり、問題を見出したり、根拠を考えたりして自分の言葉で説明する学習時間を確保することで課題解決していくようにと考えています。

(2) 児童質問紙の回答について

- ・家庭学習に関わる項目が、県、全国より高いです。全校で取り組んでいる家庭自主学習(相模っ子スタディスタイル)の効果が出ていると考えられます。
- ・国語の授業についての項目が肯定的な意見が多く、単元の学習内容の工夫や、1単位時間の活動の工夫、発問応答の授業の話し合いの在り方や、協働的な学びの工夫の効果が出ていると考えられます。